

三小タイムズ

令和3年2月3日発行 校長 辻 久恵

道徳授業（3年1組）

主題名 公平に接するために

題材名 道夫とぼく

内容項目 C 公正、公平、社会主義

本時のねらい

サッカーが下手な道夫を、休み時間のサッカーから仲間から外してしまった「ぼく」の姿を通して、誰に対しても公平に接するために大切なことを考えさせ、自分の好みで相手に対して不公平な態度をとらないようにしようとする実践意欲と態度を育てる。

学習の展開

- 1 「公平に接すること」について考える。
 - 誰に対しても公平に接することができなかったこと、またはそれを見たことはありますか。
 - 2 「道夫とぼく」を聞いて話し合う。
 - 道夫が公平でなかったのは、どんな行動ですか。
 - ・ 遠い所へボールをけて、取ってこいと言った。
 - ・ へただから入れない。
 - 「ぼく」はどうして道夫を誘うことができなかったのでしょうか。
 - ・ 勝たないと気がすまない。
 - ・ 道夫がいると勝てない。
 - 道夫の心の中はどうでしょう。
 - ・ 怒られるかな。
 - ・ 本当はキーパーじゃないところをやりたいんだけどな。
 - 道夫に「道夫がいると勝てないよな。」という研次との話を聞かれたのに「ぼく」は何も言わないのはなぜですか。
 - ・ 道夫のせいだから謝らない。
 - ・ 誘っても意味がない
 - ・ 道夫はサッカーが好きじゃないだろう。
 - サッカーが上手な走太が「道夫はサッカーが好きなのに、下手だからと言って誘わないのはどうかな」と言ったのはなぜでしょう。
 - ・ 友達の気持ちを考えなよ。
 - ・ 勝ち負けより、みんなで楽しくすることが大切だ。
 - 走太のすごいところはどこですか。
 - ・ 他の人のことを考えている。
 - ・ やさしくいけないことを伝えている。
 - ・ 悲しむ人をなくすために自分ができることをしている。
 - 3 自分を振り返り「公平」について考える
 - 周りの人と公平に接するためにどのようなことを心がけていけばよいでしょう。
 - ・ 人を責めないで、明るく、優しく接する。
 - ・ 悲しい気持ちの人を優先して、相手の気持ちを考えて接する。
 - 4 学びを振り返る。
 - 授業を振り返り、ポスターに書く言葉を考える。

